

～ インフルエンザ予防接種をご希望の方へ ～

令和7年度インフルエンザ予防接種説明書



インフルエンザ予防接種は義務ではなく、あくまでも本人の意思に基づいて接種を受けるものです。「**医師の十分な説明に基づく患者の同意（インフォームド・コンセント）**」がなければ、医師は接種を行いません。接種前に必ずこの説明書を読み、医師から説明を聞き、理解した上で接種を受けてください。

1 インフルエンザって何？

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによってかかります。かかった人が咳やくしゃみなどをすることによりウイルスが空気中に広がり、それを吸い込むことによって感染します。通常、初冬から春先に流行しますが、ときには春季、夏季にもみられます。

典型的な症状は、突然の高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などで、普通の風邪に比べて全身症状が強いのが特徴です。併せて、のどの痛み、咳、鼻水などもみられます。特に小児がかかると、肺炎などを併発し重症化する確率が高くなります。

インフルエンザは流行が始まると、短期間に小児から高齢者まで幅広く広がるという点でも普通の風邪とは異なります。

2 インフルエンザの予防法

- ① 予防の基本は、流行前にワクチン接種を受けることです。
- ② 飛沫感染対策として、「咳エチケット」を守ることを心がけましょう。
- ③ 外出した後は、必ず「手洗い」をしましょう。
- ④ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日ごろから心がけましょう。
- ⑤ インフルエンザが流行してきたら、人込みや繁華街への外出を控えましょう。

3 インフルエンザ予防接種の効果・有効性

インフルエンザ予防接種を受けてから抵抗力がつくまでには2週間程度かかり、効果の持続は流行ウイルスとワクチンのウイルスの型が一致した場合は約5ヶ月間とされています。

このワクチンを接種しても、インフルエンザに罹患することを100%防ぐことはできませんが、重症化防止には高い有効性があります。

4 接種を控えるべき方

- ① 接種当日、明らかに発熱されている方
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
- ③ 過去にインフルエンザワクチンに含まれる成分によって、アナフィラキシーを起こしたことがある方
- ④ インフルエンザの予防接種を受けた後、2日以内に発熱、発しん、じん麻疹などのアレルギーを疑う病状がみられた方
- ⑤ その他、医師が接種すべきでないと判断された方

5 次の方は接種前に、担当医師とよくご相談ください

- ① 心臓病、呼吸器の病気（気管支喘息を含む）、腎臓病、肝臓病、血液の病気、発育障害等の基礎疾患を有する方
- ② 今までにけいれんを起こしたことがある方
- ③ 過去に免疫不全の診断をされている方や近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ④ インフルエンザワクチンの成分又は鶏卵、鶏肉、その他鶏由来の物に対してアレルギーを呈するおそれのある方

6 小児インフルエンザの接種方法について

（不活化インフルエンザ HA ワクチン）

接種量と回数については、生後 6 ヶ月以上 3 歳未満は 1 回 0.25mL、3 歳以上 13 歳未満では 1 回 0.5mL を、2～4 週間隔で 2 回、13 歳以上は 1 回 0.5mL を原則 1 回接種することで、予防効果が高まります。

（経鼻弱毒生ワクチン）

2 歳以上 19 歳未満は 0.2mL を 1 回（各鼻腔内 0.1mL を 1 噴射）、鼻腔内に噴霧する。

7 インフルエンザ予防接種の副反応

ワクチン接種に伴い、ワクチン接種の目的である「免疫の付与」以外の反応が発生した場合、これを副反応と呼びます。季節性インフルエンザワクチンでは副反応として、局所反応（発赤、腫脹、疼痛等）、全身反応（発熱、悪寒、頭痛、倦怠感等）がありますが、通常 2～3 日で消失します。そのほか、ショック、アナフィラキシー様症状、急性散在性脳脊髄炎、ギランバレー症候群等も重大な副反応としてまれに報告されます。なお、局所の異常反応、体調の変化、高熱、けいれん等の異常な症状を起こした場合には、速やかに医師の診察を受けてください。

インフルエンザの予防接種により健康被害が生じた場合は、「独立行政法人医薬品医療機器総合機構法」による救済制度の対象となることがありますので、健康課までお問い合わせください。

8 接種後の注意事項

- ① 接種後 30 分間は、ショックやアナフィラキシーが起こることがありますので、医師とすぐ連絡が取れるようにしておきましょう。
※「アナフィラキシー」とは、通常接種後 30 分以内に起こるひどいアレルギー反応のこと。
- ② インフルエンザワクチンの副反応の多くは 24 時間以内に出ますので、特にこの間は体調に注意しましょう。
- ③ 入浴は差し支えありませんが、接種部位を強くこすることはやめましょう。接種当日は、いつも通りの生活をして構いませんが、激しい運動は避けましょう。

■問い合わせ先
健康課 予防接種担当
TEL:0795-32-5121